

Sep.2025

刊行日 2025/ 09/ 30



生み出すチカラ、  
デザインしよう。  
想像、創造、  
クリエイティブに。

creator's

Autumn

# NEWS 62 vol.



2025  
レクリエーション  
第1弾

## 笑顔の「コミュニケーション講座」

表情と言葉のつながり、人と接する際のマナーを学ぶ

9月23日、県主催の『出張まなび講座』から今年も第1弾として、司会やアナウンス、朗読やマナー講座を行なっている吉村先生を迎えて「笑顔のコミュニケーション講座」のレクリエーションを受講しました。

今回は様々なシチュエーションや気持ちを言葉で表現してみようという事で、先生はまず4枚の絵を並べ始めました。「怒っている」「泣いている」「友達と笑顔で楽しそう」「知り合いとパーティー」等々、絵について話しているとその中でも笑顔でいる事がコミュニケーションを円滑にする、と先生は仰いました。次に和歌山城で拾ったという松ぼっくりとどんぐりを徐に机の上に出し、触ってみた感触を言葉にしてみようという試みでは、「カサカサしている」「思ってたより痛くない」と思い思いに話し、秋を感じました。またアイスブレイクとして、秋の思い出や、印象深かった事、秋の味覚で最近ハマっている食べ物の話題となり、食べ物はやはり全員共通の話題ということで最近はこちらを食べてみて美味しかった、など場が和み、盛り上がりました。



童心に帰って久しぶりに秋を感じながら松ぼっくりやどんぐりをさわさわ、にぎにぎ。



絵本の朗読中。大人になって大人になって改めて聞くと、視点や想像もまた違って見えてきます。

秋と言えば、食欲、読書に続き音楽(芸術)の秋の話題になり、なんと先生のリコーダーの演奏付きで童謡「どんぐりころころ」を皆で歌い、おぼろげな記憶を掘り起こしながらも楽しく2番まで歌い上げ、童心に帰ったようでした。

また吉村先生は朗読の活動も行なっており、今回の講習でも一冊の絵本を読んで頂きました。本のタイトルは「だいじょうぶ だいじょうぶ」。小さな男の子が不安な気持ちになると、いつもおまじないの言葉で助けてくれたおじいちゃんのお話で、先生の柔らかい声で読み上げられたそのお話は、子ども向けの絵本でしたが、単純な様で中々に深いお話だと感じました。講習中、みんなニコニコと笑顔だったので、先生が最初に言っていた笑顔でいる事が、コミュニケーションを円滑にするということがよく分かる楽しい講習でした。